

ものづくりを通して、日本の近代化と
経済を支えてきた八幡
“世界遺産や近代遺産の残る街”

八幡さんぽみち



戦争中この地に防空壕が築造されました。昭和20年8月8日に米空軍による焼夷弾攻撃で附近一帯は焼野原となり、この防空壕に避難した人々は火煙に包まれ、全員窒息死しました。戦災死者を追悼する慰霊塔を建立しました。



旧百三銀行八幡支店 [市指定 建造物] 大正4年に建設された銀行建築

豊山八幡神社



菅公御手洗之池

大宰府に赴く途中に菅原道真公が池の水に映った我が身を見て「海ならず たたへる水の底までも清き心は月ぞ照らすむ」と詠んだとされる池。

まちのおまつり
まつり起業祭



明治34年11月18日に官営八幡製鐵所が作業開始式を挙行了したのが始まり。

約3.4km 八幡中央商店街

起業祭の時はたくさんの出店が並びます！



旧九州鉄道尾倉橋梁跡 [明治24年に開通した九州鉄道大蔵線の橋梁] [明治44年廃線] 現在道路になってしまった線路↓



厄除けの神様です/菅原道真公が大宰府への左遷の途中、山の手の丘に身を隠し逃れたと伝えられる菅原神社。境内には大宰府天満宮の御神木の黒田梅があります。

